

---

# 海のシーサイドブルー

Tamotsu24

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

海のシーサイドブルー

### 【Nコード】

N9431S

### 【作者名】

Tamotsu24

### 【あらすじ】

現代に生きる若者の姿を描いた作品です。

## 海のシーサイドブルー2

確かなものはもう何も無い。この誰かが作った場所で、誰かに指図されなければ生きることすらできない。ずっとそうやって生きてきたのだから。

そんな他愛もないことを考えていたら、注文していた焼きカレーが運ばれてきた。カレーライスにチーズをのせグラタンのように焼いたものだ。香ばしいチーズがくせになる一品だ。温泉卵がさりげなく乗っているのも嬉しい。喫茶店で一人ご飯を食べることに慣れたのはいつからだろうか。高校を卒業するまで外食することは滅多になかった。稀に友達と外食する際は変にそわそわしたものだ。

## 海のシーサイドブルー 1

夢見たものはなんだったのだろう。誰かに誇れることなど今はもう何もない。

ああ、今日もまた詰まらない日常がやってくる。誰に頼んだ訳でもないのに、私には居場所がある。誰かに用意された場所がある。私の行動範囲など、意識の循環など、どこにでも転がっている石ころ程の価値もないのだろう。ただ、そんな気がしているのだ…。

私の名前は渡辺保。今年大学二年生になる。どこにでもいる男子学生だ。私は孤独である。自分の言いたいことをここ十数年誰にも話したことがないのだ。それは私が病的なまでに他人に気を使う生き方しかできないでいるからだ。

### 海のシーサイドブルー3

我々が暮らす社会には法律がある。それをベースにして常に行動を  
供にする集団との間には独自のルールができる。

皆の意識が統一した目的に向かって邁進することに支障がでないよ  
うに。公立の学生であれば日教組が働きやすいように作られたル  
ール、

ここであれば、我々が実習に励めるために作られたルール。その中  
でまたルールが作られる。我々7人がこの一つの部屋で暮らす上で  
自然とできるルールだ。この部屋のルールは私も参加して作ること  
ができる。しかし、他の実習生の過半数から賛同されなければ認め  
られない。逆に賛同さえ得られれば認められる。ベースとなる法律  
を守らないルールもできる。それがいかに私に不利益であるうと、  
ルールはできるのだ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9431s/>

---

海のシーサイドブルー

2011年8月4日21時58分発行